

明治期の唱歌を彩った西洋曲 歌詞一覧

ベートーヴェン

20のアイランド民謡から 庭の千草
WoO153.No.6: 悲しく不運なり季節

(Sad and Luckless) スミス詞

WoO153.No.9: あなたの残した口づけは
(The kiss, dear Maid, thy lip has left)
バイロン詞

菊 白菊 展示

小學 唱歌集 第3編

東京: 高等師範學校附属音樂學校, 明治17年3月

請求記号: C15-902

詞: 里見義

庭の千草も。むしのねも。

かれてさびしく。なりにけり。

あゝしらぎく。嗚呼白菊。

ひとりおくれて。さきにけり。

共に學びし 展示

明治唱歌 第一集 東京: 中央堂, 明治21年5月

請求記号: MFC5-095

詞: 矢田部良吉

共に學びしやまとぶみ。

共にしらべしあづま琴。

あゝなつかし、その昔の

けふのわかれに忍ばるゝ。

學友會合の歌

小學適用 唱歌集 第一集 甲府: 温故堂, 明治23年5月

所蔵: 国立国会図書館近代デジタルライブラリー YDM 73114

詞: 不明

共に手折りし文乃花。共に摘みてし學び草。

あゝなつかし、其昔の。

今日の團樂ぞ楽しけれ。

花がたみ

明治唱歌 第五集 東京: 中央堂; 有正館 明治23年8月

請求記号: J109-175

詞: 大和田建樹

すみれさく野の朝露を

けさハわけても力なく

いでわかれんわがたもとに

なれしきのふの花がたみ

春興

唱歌萃錦 第二 東京: 中央堂; 共益商社書店,

明治23年9月

請求記号: F12-216

詞: 下田歌子

櫻かつちる 山路には

こゝろの駒も なづむなり

すゞ菜花さく 野の邊には

ゆめのこてふも 遊ぶめり

薔薇

新式唱歌 一名トニックソルファー唱歌集

東京: 十字屋書店, 明治30年11月

請求番号: J109-171

詞: 中村秋香

雨に響めバ 雨薫り

風に笑へバ 風匂ふ

庭のうばらの 花のさかり

見し世の友ぞ なつかしき

薔薇の花

新撰 教育唱歌集 全 大阪: 大阪開成館 明39年4月

請求記号: C15-880

詞: 不明

雨の雫にうちぬれて、

にほひ出でたるばらの花

あな美し。あな、なつかし。

折りて、友にや贈らまし。

ベッリーニ

オペラ『ルマ』より “予言の力で”

Del aura tua profetica

月下陣(軍歌)

音楽雑誌 33号. 明治26年6月, 東京: 音楽雑誌社

請求記号: P1276-33

詞: 永井建子

宵の篝 火影うせて 木枯し吹くや霜白く
夜は更け沈む曠野原 駒も蹄を寛げつ
音なく冴る冬の月 楯を褥の武士は
明日をも知らで草枕 夢はいづこを輪るらん

月下陣 展示

鼓笛 喇叭 軍歌 实用新譜. 東京: 共益商社,

明治32年6月

請求記号: MFC0-703

詞: 永井建子

宵の篝 火影きゑて 草の葉末に霜白く
夜は更けわたる曠野原 駒も蹄を休めけり
音なく冴る冬の月 楯を枉の武士は
糧を腰にし草枕 明日の軍の夢や見ん

將歸郷

日英唱歌集 東京: 学海指針社, 明治41年1月

所蔵: 国立国会図書館近代デジタルライブラリーYDM73378

詞: 不明

差並の岡には、もゝの花さきて、
百鳥のこゑごゑ、ア、奏でやすらむ、
吹く風も清き、屋戸のわたり、ア、
なづかしきものは、故郷のさまよ、
老人はまめに、ア、幼稚はさきく、

端居の夕

中等音楽教科書(甲種) 卷式. 東京, 弘樂社出版部,

明治41年6月

請求記号: C15-976

詞: 不明

涼しさをゆすりて そよめくや小笹の、

夕風に 吹かれて

あゝ月こそ出でたれ。

妻琴のひびき ほのかにもして、

郭公 今もや一聲をうれしと

なのりてぞ出づらん、

あゝおもしろの夜や。

あそび

小學校教科書用 學童唱歌 上編.

東京, 同文館樂器校具店, 明治36年11月

請求記号: C39-312

詞: 青水

よき歌うたひ、あそべやあそべ、

雀も軒に、チヨ チヨ うたひ、

子犬も庭に、コロ コロ あそぶ、

いざいざ友よ、 うたいてあそべ。

故郷の母 展示

皇民唱歌集 東京: 同文館樂器校具店, 明治38年10月

請求記号: C38-877

詞: 旗野士郎

仮寝の夢さめて、もゝさくら咲き散る

朝の庭ながむれば、おなじ春なり旅も、

さてもへば故郷の、母びとはあ…は…れ…よ、

花につけ、このわれを、

思ひまつらむ遠く、

メンデルスゾーン

祝祭歌(ゲーテンベルク・カンタータ)

ひばりの歌

祝祭歌(ゲーテンベルク・カンタータ)

第三十七 Herald angels 展示

譜附 基督教聖歌集. 横浜: 美以美教會雜書,

明治19年5月(明治17年出版の第2版)

請求記号: A10-954

あもりしきみの おどづれつぐる
あまつみ使ひの うたふこゑをきけ
あめにハさかえ くにハやすき
なべてよびとに みめぐみあれと

第六十 聖子 降誕

新撰 讚美歌 東京 [他] 植正久; 奥野昌綱; 松山高吉
明治33年5月 (明治23年11月出版の同書の後刷)
請求記号: A10-961
詞: 不明

あまつつかひの つぐるをきけよ
われらのために すくひのぬしは
ダビデのむらに いまうまれたまふ
これよろこびの おどづれなるぞ

皇統 展示

小學唱歌 卷之四 下 東京: 大日本圖書 明治26年8月
請求記号: C46-563
詞: 谷勤

神代の昔しも明治の今も
變らぬ皇統の我おほみかど
うごかぬしるしの三種のみたから
仰げやもろ人よろづ世までも

進取の歌

高等 小學唱歌 第一學年上 兒童用.
東京: 國定教科書共同販賣所, 明治39年11月
請求記号: C39-220
詞: 大和田建樹

國威を四海に、かがやかさんと、
大軍おこして、波路を渡り、
うち入る我兵、敗れし明軍、
それより吾には、手出しも得せず。

日の御旗

教科統合 女學唱歌 卷の一 東京: 國定教科書
共同販賣所, 明治43年09月
請求記号: C39-338
詞: 桑田春風

照る日の御旗は 日出づる海の
たぐひぞ稀なる皇國のしるし。
外つ國人さへ 光を仰ぎて、
後稷威を畏む 君が代たふと。

誕生日

教師用 女子音樂教科書 大阪: 開成館 明治44年2月
請求記号: C40-576
詞: 大桑いよ子

うれしや樂しや わが誕生日
今日こそ此の身の 尊き祝ひ
月すむゆふべも 花咲くあしたも
いかでかまさらん 今日よき日に

第四十四 いと高き所には榮光神にあれ

譜附 古今聖歌集.
東京: 日本聖公會出版社, 明治35年6月
請求記号: A11-241
詞: 不明

神みにはさかえ ちにはおだやか
ひとにはめぐみ あれとうたへる
みつかひたちの たへのうたを
きてもろびと ともによろこび
いまあれましよ きみをたよへよ

第一百五十七

讚美歌 東京: 教文館, 明治36年 (明治45年第7版)
請求記号: A10-964

見よやわが主の めぐみのひかり
世のくにぐにに かぎやきぬるを
ひとのころの みなてらされて
日々にいやます さちをえよかし
日々にいやます さちをえよかし

ひばりの歌 作品 48-4

春の歌

幼稚園唱歌 大阪: [福音社], 明治25年6月
請求記号: A11-245

光はいへり起きよや 野にさく蓮花よすみれよ
冬の眠りさましてきけ初鶯の音を

牽牛華 あさがお

新編 教育唱歌集 第七集
大阪：大阪開成館，明治39年4月
請求記号：C15-880
詞：山内繁子

わが庭^{には}のあさがほや。
露^{つゆ}をおびて咲^さける その花^{はな}のうつくしさ。
赤^{あか}き青^{あを}き、しろき、しぼりなるもありて。

琴の音 展示

女學唱歌 第老集
東京：共益商社楽器店，明治33年8月
請求記号：C16-131

松風^{まつかぜ}か、夜^よあらしか。あはれあの聲^{こゑ}は。
月^{つき}しろし、風^{かぜ}きよし。
たかき琴^{こと}のしらべ。
いづくよりかひぶく。

モーツァルト

『魔笛』より
春への憧れ

『魔笛』より

1) 三人の童子の歌

Zum ziele führt dich diese Bahn

正義

中等 音楽教科書(甲種)。東京，弘楽社出版部，
明治44年12月
3部合唱+ピアノ伴奏
請求記号：C15-894
詞：吉丸一昌

正義^{ちまた}の巷^{たど}を われは辿れば
おそれは抱かず
樂し樂し 樂しや
心はゆたかに
樂し樂し 樂しや樂しや
身はやすし。
正義^{まさ}に勝る味方
いづれの世にもあらじ。

2) 第1幕フィナーレ モノスタスと奴隷 たちの合唱 No. 8 Das klinget so herrlich 保昌

中等唱歌集。東京，大日本圖書，明治22年12月
請求記号：M5-448
3部合唱
作詞：神津仙三郎

尾花かれふす冬の野邊、
ララララララララララララ、
保昌、笛をふきすまし、
ララララララララララララ、
月かげすごく、よるももなか、つるぎもこしに、
かまへたれど、うちがちがたき、笛の音のみに、
膽をうばはれつゝ、つけゆく賊も、
めぐみのきぬに、ふたゝびあせをながしけるぞ。
尾花かれふす冬の野邊、
ララララララララララララ、
保昌、笛をふきすまし、
ララララララララララララ。

3) 第1幕フィナーレ モノスタスと奴隷 たちの合唱 No. 8 Das klinget so herrlich Adressons notre hommage

公教唱歌 東京：アンリ，ドマンジェル，明治44年10月
請求記号：A10-918

フランス語を日本語のカタカナに直したもの

4) 第2幕三人の童子の歌 No. 16

Seid uns zum zweitenmal willkommen

花曇(辨)の内侍

デュエットトリオ唱歌集 伴奏附。
東京，共益商社，明治39年5月
請求番号：F12-155 (コピー版)

はなぐもり、吉野^{よしの}の、おほみやに、
いそぐ、道^{みち}すがら、
怪^{あやし}の、物音^{ものおと}は、なにぞ、
巖^{いは}が根^ねの、こどしき、谷陰^{たにかげ}の、こみち、
耳^{みみ}敏^とき、正行^{まさつら}、取りしぼる、
太刀^{たち}の おみな^{なまこゑ}の、哭聲、
山賊^{やまだち}の、わざか、ソレ、ものども、ソレ、のがすな。

4) 誠八人の道 展示

小學 唱歌集 第3編

東京：高等師範學校付属音楽學校，明治17年3月
請求記号：C15-902

まこと八人の。道ぞかし。
つゆなそむきそ。そのみちに。

5) 第2幕フィナーレ 3人の童子の重唱 No. 21

Bald prangt, den Morgen zu verkunden
御陵威の光

中等唱歌集 東京，大日本圖書，明治22年12月
請求記号：M5-448
詞：鳥居忱

あゝ明治乃御世や、あゝひかりの世や、
いかにかくこそ、かゞやきぬらめ。
みくさのたから、世々につたはりきて、
あめつちひろく、みづつ乃ひかりを、はなちますらん。

春への憧れ

上野の岡

明治唱歌 第二集 東京，中央堂，明治21年12月
請求記号 J 95-151
作詞：大和田建樹

春のさくら秋のもみぢ ながめたえぬ上野の岡
知るやむかしあの木陰に ふりみだれし矢玉の雨

千代田の宮居

唱歌萃錦 第一，東京，共益商社，明治22年12月
所蔵：国立国会図書館近代デジタルライブラリーYDM73139
詞：服部元彦

千代田の宮居 空ぞ立てる
黄金もしらず 玉も置かず
難波乃宮の 昔おもへば
かしこし宮居 空ぞ立てる

始業式

小學唱歌集 卷之二，東京，普及社，明治26年10月
請求記号：C39-229(コピー版)
詞：白井規矩郎

けふあらたま としむか
今日新玉の、年を迎へつ、
ひらそ おしへには
開き初めたる、教の庭や
尊尊しな、かしこき尊影や、
きみがようた
君が代謡ひて、をろがみまつらむ。

夏

新式唱歌 一名トニックソルファー唱歌集，
東京、十字屋，明治30年11月
請求記号：J109-171(コピー版)
歌詞：中村秋香

わかば こずゑ かぜ
若葉の梢 風なつかしく
う はなかきね つきおもしろ
卯の花垣根 月面白し
はなたちばな かほ
花橋の 薫れるゆふべ
ま き やまほととぎす
待たでも聞くか 山郭公

蓮の花

高等 小學唱歌 第三學年下 児童用，
東京、國定教科書共同販賣所、明治42年7月
請求記号：C39-225(コピー版)
詞：桑田[春風]

朝靄こめし、池の面を、
せま
狭しと咲ける、蓮の花の、
うき葉の みどり、彩にかがる、
さながら、花は、刺繡の模様。

山家春暁

新編 中等唱歌 東京，内田正義，明治25年3月
請求記号：MFC5459
2部合唱
詞：本居豊頼

春はあけほの花はさかり
明る山窓しつかなれとひとも
とひこす鳥もなかず谷の
水おとひとりきよし

漁船 展示

教化統合 少年唱歌 第八編 東京：十字屋 明
治38年10月
請求記号：C16-016
詞：大和田建樹

朝なぎひろき、海の上に、
三つ四つ浮ぶ、あまを
海士の小舟、
釣れたる魚は、何と何ぞ、
鯉か鯛か、鱒か鯖か。

ゆかしいぢらし

中等 教育唱歌集 東京、東京開成館 明治41年7月
請求記号：MFC5562
詞：山田美妙

籬^{まがき}のかぎり、蔓^{つる}を伸べし
朝顔^{あきがほ}ゆかし、またいぢらし。
進む^{すす}に道^{みち}の 無^なきを知らず、待^ためぬ風^{かぜ}に
縋^{すが}る、縋^{すが}る・・・

春の曙

教師用 女子音楽教科書 卷之二
大阪、開成館 明治44年2月
請求記号：C40-576(コピー版)
詞：武島又二郎

鶯^{うぐいす}来なく 朝^{あさ}の小窓^{こまど}
夢^{ゆめ}よりさめて 外^と面^も見^みれば
柳^{やなぎ}も今^{いま}や 起^おき出^でてつゝ
風^{かぜ}にみどりの 髪^{かみ}をとかす

うれしき春

音楽新楽譜 第2集 東京、楽友社 明治40年6月
請求記号：MFC6084

ウスムラサキニカスムヤベ
ハナヲカザシテカヘルソマニ
つゝジャマブキタルオトメ
ウレシキハルヲウタヘヤトモ

ルソー

オペラ『村の占い師』よりパントミム

みわたせば

小學 唱歌集 初編 明治14年11月
請求記号：C15-902 単音
詞：柴田清熙・稲垣千穎

見^みわたせば、あをやなぎ、花^{はな}桜^{さくら}。こきまぜて。
み^みやこには、み^みちもせに 春^{はる}の錦^{にしき}をぞ。
さ^さほひめのおりなして。ふ^ふるあめにそめにける。

軍歌 戦鬪歌 追撃 戦鬪歌の海戦 進撃の歌

家庭 唱歌之友 東京、文盛堂、明治22年3月
所蔵：国立国会図書館近代デジタルライブラリーYDM72877
詞：鳥居忱

見^み渡^{わた}せは寄^よせて来^きる敵^{てき}の大^{たい}軍^{ぐん}面白^{おもしろ}や
す^すはや戦^{いくさ}ひ初^{はじ}るぞいでや人^{ひと}々^々攻^せめ潰^{つぶ}せ
弾^{たまご}丸^{まる}込^こめて討^うち倒^{たお}せ。敵^{てき}の大^{たい}軍^{ぐん}撃^うちくずせ

四季のながめ

唱歌のいとぐち 東京：開文堂 明治22年5月
請求記号：MFC5426
歌詞：不明

見^みわたせば、野^のも山^{やま}も
はなぐもり。 う^うぐひすも蛙^{かはづ}等^らも。
歌^{うた}よみて。は^はるのけしきをぞ。
嬉^{うれ}しげに。あ^あしたより。
暮^くるゝまで。う^うかれける。

進撃及び追撃 進撃 展示

新軍歌 東京、壽盛堂 明治22年8月
請求記号：MFC5-416 単音
詞：鳥居忱

見^みわたせば、潰^くづれか^かくる。敵^{てき}の大^{たい}軍^{ぐん}、心^こ地^ちよや。
も^もはや合^あ戦^{せん}勝^かちなるぞ。い^いでや人^{ひと}々^々追^おひくづせ。
銃^{じゅう}劍^{けん}つ^つけて、突^つき出^でせ。敵^{てき}の大^{たい}軍^{ぐん}。突^つきくづせ

讚美歌第二十五番

譜付基督教聖歌集 横浜、美以美教会雑書会社
明治17年11月
請求記号：A10-954

エホバのみかみよ き^手みがみてもて
たびしゆくわれを み^みちびきたまへ
われいよわくとも エホバはつよし
あめなるみかてを あ^あくまでまたへ

讚美歌第十五番 禮拜 閉會

新撰讚美歌 横浜、製紙分社 明治33年6月
請求記号：A10-954

主^まよみめぐみもて わ^われらにそゝぎ
よ^よろこびにみちて み^みまへをさらせ
あ^あいのはたらきを 世^よになさしめよ

讚美歌第七十五番 わが平安を汝らに予ふ

譜附 古今聖歌集

東京：日本聖公會出版社，明治35年6月

請求記号：A11-241

かみよみめぐみを われらにそゝぎ
よろこびにみちて みまへをさらせ
あいのはたらきを よになさしめよ

讚美歌第三百二十八番 主は彼等を直き道に導き給へり

譜附 古今聖歌集

東京：日本聖公會出版社，明治35年6月

請求記号：A11-241

わが^{大御神}おほみかみよ つよき^{御手}みてもて
あ^{荒野}れのにさまよふ われをみちびき
あ^天めのみかてにて あか^砲しめたまへ

花見

新式 日本唱歌 第一編 東京，十字屋，明治37年2月

所蔵：国立国会図書館近代デジタルライブラリーYDM73402

詞：酒井勝軍

やまやま^山にたなびく^{かすみ}霞 おほ^{きこ}ろに聞ゆる^{とり}鳥の聲
あ^{あか}き^{しら}白きにこき^ま交ぜて 亂^{みだ}れつ^{かほ}香へる^{さくら}櫻花
自然^{しぜん}の音楽^{おんがく}調^{しらべ}をあは^{てん}せ 天女^{てんにょ}の姿^{すがた}風^{かぜ}に舞^まふ

戦闘歌 陸軍

新編 教育唱歌集 合本 東京，東京開成館，明治39年4月

請求記号：C15-880

詞：不明

寄^よせ来る^くは、す^{てき}はや、敵^らよ。喇叭^{らっぱ}高^{たか}くなりわたる。
み^みだれちる^{たま}丸^{たま}のあ^のられ。野^の邊^へを走^{はし}るいなびかり。
見^みよや、歩^ほ兵^{へい}は突^つき入^いりぬ。敵^{てき}の備^{そなへ}はくづれたり。

戦闘歌 海軍

新編 教育唱歌集 合本 東京，東京開成館，明治39年4月

請求記号：C15-880

詞：不明

く^くろけ^けわり^{わり}そ^そら^らは^は 吐^つきて、す^{きた}ゝみ^{てき}来る^{くる}敵^あの艦^ね。
待^{まち}ちしか^{うみ}ひ^{そこ}ありて、う^うれし。海^{うみ}の底^{そこ}にう^{しづ}ち沈^{しづ}め、
國^{くに}のあ^{かが}たをば^かたひ^{ぐん}らげん。あ^かふげ、輝^くく軍^{ぐん}艦^{かん}旗^き。

讚美歌第三十七 集會

改正 ゆにてりあん唱歌集

東京：日本ゆにてりあん協會，明治40年2月

請求記号：A11-105

あ^{うきよ}らぶ^ある浮^あ世^だの 仇^あ波^だよそに
た^たの^のど^ど 樂^おしく長^お閑^もけき 思^おひはこび
こ^この^のや^や 此^は家^るをめぐ^はりて 春^は風^る吹^はけや

シューベルト

菩提樹

雀の子

明治唱歌 第五集 東京，中央堂，明治23年8月

請求記号：J109-175 (コピー版)

詞：大和田建樹

芝^あ生の^はうへに小^こ雀^ねの葉^はに
う^うつくし^しや来^きてあ^あそぶ^ぶ雀^ね
き^きのふ^ふかけ^けふ^ふか巢^ねだ^だちて^てま^まだ
か^かよ^よわ^わき^き翼^{よく}馴^なら^らして^{して}や^やよ
そ^そら^らによ^よもに

惜陰

音楽新楽譜 第二集 東京，音楽社，明治40年5月

請求記号：MFC6084

詞：不明

し^しぐ^ぐれ^れし^しも^も お^おち^ちば^ば
時^し雨^ぐに霜^{しも}に 落^おち^ちして
し^しび^びの^のや^やま^ま み^みし^し
淋^しし^しき^き野^の山^{やま} 見^みて^ても^も知^しれ^れや。
し^しば^ばも^もあ^あ 松^{まつ}柏^{かしは}、
こ^これ^れぞ^ぞ學^{まな}び^なの^{とも} 友^{とも}な^なれ^れや。
友^{とも}な^なれ^れや。

菩提樹

音楽新楽譜 第四集 東京，音楽社，明治42年2月

請求記号：MFC6084

詞：葉山影雄

み^みず^ずは^はみ^みど^どり^りそ^そら^ら い^いづ^づみ^み
水^み葉^ず緑^み葉^み空^みにか^かざ^ざし、泉^{いづみ}に^にの^のぞ^ぞも^も菩^し提^な樹^なの^ひ一^{ひと}木^き。
か^か重^{おも}さ^さなる^{なる}夢^{ゆめ}の^{いと}も^もつ^つれ^れ糸^{いと}を^を つ^つな^なぎ^ぎぬ^ぬわ^われ^れは^はこ^この^こ木^き陰^{かげ}に

学生の送別

音楽新楽譜 第四集、東京、音楽社、明治42年2月
請求記号：MFC6084
詞：米花園樂人（山本正夫）

まなびの窓の 雪ほたる
あつめしひかり 身にそひて
家路てらしつゝ かへります
けふのさきはひ いかならむ
いかならむ

菩提樹

女聲唱歌、東京、水野商店、明治42年2月
請求記号MFC5046
作詞：近藤朔風

泉にそひて、繁る菩提樹、慕ひ住きては、
美し夢みつ、幹には彫りぬ、ゆかし言葉、
嬉悲に、訪ひしそのかげ。

吉野懷古

女樂唱歌 卷之三。
東京、國定教科書共同販売所、明治43年9月
請求記号：C39-340(コピー版)
詞：杉谷代水

花にかくれし鎧すがた、
ありし武夫 影やいづこ
雲よ白雲 雪よ吹雪、
跡は埋めど 消えぬ忠誠、
きえぬ懐ひ。

歳暮

教師用 女子音楽教科書 卷之二。
大阪、大阪開成館、明治44年2月
C40-576(コピー版)
詞：犬童球溪

ゆきて歸らぬ 年月を
ひとひとひと 暮し来て
今年も今は 折る指に
おしむ日數と なりにけり
なりにけり

門の椎の木

中等 音楽教科書(甲種) 卷参。
東京、弘樂社、明治41年6月
請求記号：C15-975
詞：吉丸一昌

木陰に寄りし 夏のゆふべ、
木の實拾ひし 秋のあした、
門の椎木 見れば思ふ、
昔がたりの あれも夢や、これもゆめや

朧月

中等 教育唱歌集 大阪；東京、開成館、明治41年
請求記号：MFC5562
詞：大和田建樹

雲雀おちくる春の野の
芝生に霞む夕月夜
いざ此影を友として、
家路に行かん、父母の待つ宿に。

シューマン

つばめ

つばめ

Liederalbum für die Jugend op. 79-21: Die Schwalben
重音唱歌集 卷 東京、共益商社樂器店、明治33年8月
請求記号：C52-883
詞：不明

いづこまでと、つばくらめ、
さざりたつ、そらに、
思ひたちて、いそぐらむ、
なれしふるす、あとにして。

ワグナー

オペラ『ローエングリン』より結婚行進曲

婚禮

唱歌萃錦 第一、東京、中央堂・共益商社、明22-02
請求記号：F12-215(コピー版)
詞：東宮鐵真呂

さかゆくためしに櫻をおりかざし
かはらぬためしにこ松をさしたてん
いもとせの ちぎりを
よろづよと いはひて
さかゆくためしにさくらをおりかざし
變らぬためしにこ松をさしたてん

春の夜

明治唱歌 第五集. 東京, 中央堂:有正館, 明 23-01
請求記号: J109-175 (コピー版)
詞: 大和田建樹

今宵ものどかに霞める天つ空
櫻をこのまにふけゆく月の影
かみはたゞこよ夜を
ものおもひなき身に

四季

小學生徒用唱歌 志きしま 神奈川, 根岸小彌太, 明26-12
所蔵: 国立国会図書館近代デジタルライブラリーYDM73109
詞: 根岸小彌太

春の彌生になりぬれば 桃と櫻をこきまぜて
霞そ野邊に匂ひけり あら面白の春景色

櫻はかくはし、日本男児

明治軍歌 全. 東京, 博文館, 明 27-06
数字譜 旋律のみ
請求記号: M5-448
詞: 落合直文

櫻はかくはし ますらをは、いさまし
我が身をわすれて、國のためつくせ
風には散とも、雨にはぬるとも
櫻はかくはし ますらをは、いさまし
我が身をわすれて、國のためつくせ

騎兵

新編 教育唱歌集 第七集.
東京; 大阪, 開成館; 三木書店, 明治 29-
請求記号: C15-880

見よや、勇まし、蹄のどろき こだまにひびきて、
隊伍をただし、足並そろへ、かけ来る騎兵。
あれよ。あれよ。 國を守る武夫。

祝捷歌(運動會、ボート競争等に用フ) 展示
教科統合 少年唱歌 六編 東京:十守屋 明治34年8月
請求記号: C16-014
詞: 旗野士良

見わたす、^{かたがた}方方、^{たげ}いづれ^伴猛き、^をとも男。
さてこそ あらそふ、^{わざ}技倆もまこと、はえあれ。
いなづまの ^かかがやき、^いいかづちの、とどろき。
あれあれ、^かちたり、^みみごと、^みみごと、^勝勝ちたり

運動会

教科統合中學唱歌 第巻卷.
東京, 東京音楽書院; 同文館, 明 43-04
所蔵: 国立国会図書館近代デジタルライブラリーYDM73299
詞: 大和田建樹

風なく 雲なく、^{まれ}たぐひ^稀の 空色、
鳥鳴き 花咲き、野邊に満つる 喜び。
待たれつる 此時、磨きつる ^{わざ}此技。
いざいざ ^{きそ}競はん、^{あひづ}勇む聲を 相圖に。

意氣の歌

四高歌集. 金沢, 堀田金沢支店, 明 44-05
請求記号: MFC911035
詞: 梁瀬成一

大鵬一撃天翔るや三千里
怒りて飛ぶ時嵐起る大空
春は花朗、秋は月丸か
榮華に耽れる塵裳遠く見下し
飛行くはてしは空の彼方北斗星
行け大鵬行け行け

ウェーバー

魔弾の射手 序曲

別れの鳥 展示

明治唱歌 第二集. 東京, 中央堂, 明治 21 年 12 月
請求記号: J95-151
詞: 大和田建樹

ひとつの野辺にそだちし雲雀
へだてぬかげも今宵ぞなごり
のこるもゆくも春日のめぐみ
あそべやよもにうたへやそらに

卒業のわかれ

新編 教育唱歌集 第七集。
東京；大阪：開成館，三木書店，明治29年
請求記号：C15-880
詞：不明

おな まど けふ かた
同じ窓に今日は語り。
とほ そら あす はな
遠き空に明日は離る。
おも い はな つき
思ひ出でよ、花に月に
うた はる あき
歌ひあひし春と秋を

第九十六 忠順 君のまにまに

譜附 基督教聖歌集明治28年版。
東京，メソヂスト出版舎，明治28年7月
請求記号：A10-955
詞：不明

わが^{しゅ}主イエスよ 主^{しゅ}のまにまに
わがこのみも たまもまかせん
かなしむまも よろこぶひも
主^{しゅ}のみむねと さとらまほし

第二百十九 聖徒艱難及び奨励 聖旨をなせ

基督教讚美歌。東京；神戸：米國浸禮教會傳道會社，
明治29年12月
請求記号：A10-953

みむねをなせ われはすべて
まかせまつらん わがこゝろの
かなしみにも よろこびにも
われをたすけ みむねをなせ

第二百三十三

讚美歌 東京：教文館 明治36年(明治45年6月 7版)
請求記号：A10-964
詞：不明

しゅ みて
主よ御手もて ひかせたまへ
たゞわが主の みちをあゆまん
いかにくらく けはしくとも
みむねならば われいとほじ

第七十二 信徒生活 試練

新撰讚美歌。東京他，奥野昌綱他，明治33年5月
請求記号：A10-954
詞：不明

かみよわれを みちびきゆけ
われたゞ主の みちをあゆまん
いかにくらく けはしくとも
みむねならば われいとほじ

霞のあなた

女子日新唱歌。東京：大日本圖書，明治39年8月
請求記号：F12-232
詞：大和田建樹

うなばら かり
海原こえてなきゆく雁も
あきかぜ ふたた き
秋風ふかば再 び来なん
きみ はぎ ころ
わするな君も萩さく頃は
かへ とも つき み ちぎ
帰りに共に月見ん契り

第二十二 信仰

改正 ゆにてりあん唱歌集。
東京：日本にてりあん協會，明治40年2月
請求記号：A11-105
詞：不明

おのがまに^{のち} 野路をよぎり
たかね わた かぜ
高嶺こえて渡る風の
ゆくへとほく^{ころ}
行方遠き寄しき心
と あき ゆふ
寛めでやまじ 朝な夕な

夏野

中等 音楽教科書(甲種) 卷参
東京，弘樂社，明治41年6月
請求記号：C15-975
詞：吉丸一昌

青葉三里 野路を辿る、
馬追ひの笠の上を、
白し白し眞白小百合
朝風にゆれて吹く。

月夜

中等 教育唱歌集 東京、東京開成館 明治41年7月
請求記号：MFC5562
詞：友田宜剛

かげもおほる 霜^{しもよ}夜の月、
聲^{こゑ}帆^ほにあげ、そらゆく雁^{かり}。
雁^{かり}のこゑに 友^{とも}をしのび、
月^{つき}のいろに 家^{いえ}をおもふ。

秋の夜半

教科統合 女學唱歌 卷の二、東京、國訂教科書
共同販賣所、明治43年8月
請求記号：C39-339(コピー版)
詞：佐々木信綱

秋の夜半の み空澄みて、
月の光、清く白く。
雁^{かり}の群^{むれ}の 近く来るよ、
一つ二つ 五つ七つ。

誠の道

音楽新楽譜 第6集 東京、樂友社、明治44年12月
請求記号：MFC6084
歌詞：天野流星

神のみ園、理想の里
そもいづこに求め得べき
さは遠からじあゝ此里
こはみな我が心の内よ

第162 シオンの山は美しく喜悦を地に あまねく興ふ

譜附 古今聖歌集。
東京：日本聖公會出版社、明治35年6月
請求記号：A11-241

さかえに^まみちたる かみのみやこは
としへの^岩いはの いし^基ず^礎かたく
すくひの^石いしが^基き かたくかこめば
みたみの^平やすきを たれか^侵はをかさん

第237 もろもろの天より主を頌めたゝへよ

譜附 古今聖歌集。
東京：日本聖公會出版社、明治35年6月
請求記号：A11-241
詞：不明

あめも^天みつか^使ひも かみを^神たゝへよ
ひも^日つきも^月ほしも よろこび^星うたへ
かみ^御みこと^言ばにて あめ^法つちつくり
かは^法らぬのりもて をさめたまへり

展示パンフレットは図書館ホームページからも入手できます。(バックナンバーも公開しています。)

<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/tenji/tenji.htm>

2008/6/2 編集 国立音楽大学附属図書館広報委員会：三宅巖・二塚恵里